284号　平成29年（2017年）4月25日発行　ふちゅう 市議会だより

自転車ナビマーク 今後の設置計画は

委員　自転車ナビマークの設置は、自動車を運転する方に対し、安全な通行を意識させるものとして非常に効果があったと思う。

そこで、自転車ナビマークの今後の設置計画について聞きたい。

地域安全対策課長補佐　ナビマークについては、交通安全対策審議会からの答申を受け、いちょう通りや十中通り、本宿北裏通りなどの9路線を平成28年度に設置した。

また、警視庁は28年度より国道、都道への設置を開始しており、今後、30年度にかけて、甲州街道や旧甲州街道などへの設置を予定していると聞いている。

プラネタリウム 改修後の特徴は

委員　郷土の森博物館のプラネタリウムについては、今後、設備改修される予定であるが、新たなプラネタリウムの特徴を聞きたい。

また、座席全体が回転する設備を導入できないか。

ふるさと文化財課長補佐　特徴については、全天に迫力のある映像を投影できる最先端の機器を導入することとしており、座席についても、幅や前後の間隔を広げるほか、家族などで楽しめる特別席等を設置したいと考えている。

ふるさと文化財課長　回転する設備については、予定している座席数を減らす必要があるが、今後、実施設計を進める中で検討していきたいと考えている。

▲郷土の森博物館のプラネタリウム

ごみ減量の推進に向け 新たに取り組む事業は

委員　市では、ごみ減量の推進に向け、分別方法などを分かりやすく紹介するDVDを新たに作成し、啓発に努めると聞くが、これとは別に、取り組む予定の事業があれば聞きたい。

ごみ減量推進課長補佐　新規事業として生ごみ処理機の貸出し事業を行うほか、剪定枝を自宅でチップ化することができる処理機を貸し出す事業も行いたいと考えている。

また、外国人への対応として、英語、中国語、韓国語の3か国語を対象とした分別ガイドブックを東京外国語大学の学生との協働により作成を行い、平成29年10月頃には完成させたいと考えている。

学校施設老朽化対策推進協議会 2年間も設置する理由は

委員　市は、学校施設老朽化対策推進協議会を2年程度設置し、学校施設改築・長寿命化計画を策定すると聞くが、2年間も設置する理由を聞きたい。

また、老朽化した施設について、基本的には改築してもらいたいがどうか。

学校施設担当主幹　協議会の設置について、同計画の策定に当たっては、関係部署との調整を行うほか、検証データなどを収集するため、2年程度の期間が必要と考えている。

また、老朽化した施設について、改築を行う割合が高くなると捉えているが、大規模改修の計画も策定する必要があるものと考えている。

自殺対策に関する 取組の内容は

委員　自殺対策に関する事業については、今後もより一層力を入れてもらいたいが、平成29年度の取組内容は。

健康推進課長補佐　市民を対象とした講演会を実施するほか、若年層への啓発として、28年度に杏林大学の学生と協働で作成した相談カードを高校や大学、関係機関等に配布したいと考えている。

また、教育関係者の方を対象としたゲートキーパー※研修を計画するとともに、初めて市民を対象とした研修も実施していきたい。

※ゲートキーパー…自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人

総　括

健康増進

委員　全ての市民が健康で元気に活躍できるまちづくりを目指すためには、健康寿命の延伸に向けた健康増進の取組が重要と考えるが、平成29年度に取り組む主な事業は。

福祉保健部長　高齢者の生活支援に関する取組として、地域デイサービス事業や介護予防把握事業のほか、疾病予防対策としてがん検診などを行う予定である。

なお、本市における健康寿命は、健康増進の様々な施策によって、着実に延びているものと認識している。

多磨駅橋上化改良

委員　市では、多磨駅東西のアクセスの向上を図るため、橋上化の改良に取り組むと聞くが、今後整備が予定される都市計画道路3・4・11号（11号）との関係性は。

まちづくり担当参事　改良に伴う具体的な配置については、平成29年度に予定している基本設計において決定していくが、自由通路が11号で整備される交通広場部分に面して配置されるよう、西武鉄道株式会社と協議していく必要があるものと考えている。

市民活動センター

委員　協働のまちづくりを推進するための活動拠点として平成29年7月に開業する市民活動センターは、青少年スペースや起業支援・個人有料利用コーナーなどの施設が設置される予定であるが、これらの施設について、どのような事業展開を図っていく考えか。

市民協働推進本部長　単に活動の場所を提供するだけではなく、企画力やノウハウを十分に発揮する場として、様々な方や団体へアプローチを行い、市民協働の促進を図っていきたいと考えている。

新学校給食センター

委員　新学校給食センターにおける食育について、どのように取り組んでいく考えか。

教育部長　新学校給食センターでは、調理作業を見学できる見学通路や調理体験コーナー、食育体験ゾーンなど実際に体験できる機能、食に関する講座等を実施できる研修室などを設置する予定である。

新学校給食センターを児童・生徒に見学体験してもらうことで、今までの学校給食センターでは、できなかった様々な食育が可能になるものと考えている。

重点化査定方式

委員　重点化査定方式で予算編成を行ったことにより、平成29年度から削減された事業は。

また、削減額を資料で示してもらいたいがどうか。

財政担当参事　事業については、作業所等経営ネットワーク支援事業や学童クラブ運営事業、林間学校運営事業などがある。

削減額については、複合的な要素があるため、明らかにすることは難しいが、今後、予算全体の在り方等を更に研究していきたい。

待機児童解消

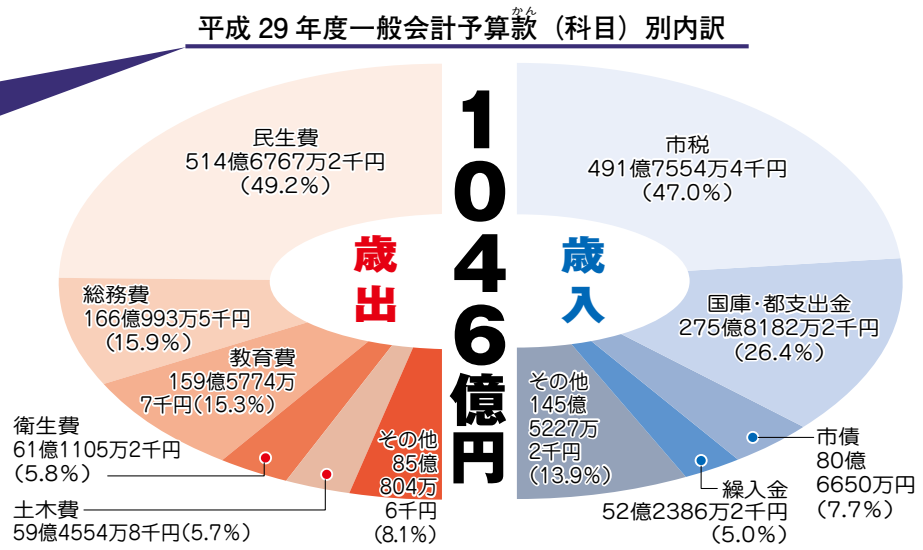
委員　待機児童については、近年、社会問題となっており、本市においても、保育需要の増加に追いついていないと思うが、待機児童解消に向けた取組は。

子ども家庭部長　平成29年度は保育の量の確保として、30年4月開設の認可保育所4園の整備を進めるとともに、認可外保育施設利用者に対する補助の拡大や保育コンシェルジュによる情報提供など、総合的に子育て支援策を充実させ、選択肢を広げた子育てしやすい環境を整備していきたい。

平成29年度各会計別予算額

区分		平成29年度	平成28年度	伸び率(%)
一般会計		1046億円	1010億円	3.6
特別会計	国民健康保険	274億3806万2千円	279億1077万9千円	△1.7
	後期高齢者医療	49億8808万7千円	47億3620万1千円	5.3
	介護保険	165億4687万9千円	156億8331万6千円	5.5
	公共用地	29億4977万3千円	32億8447万1千円	△10.2
	下水道事業	40億1368万6千円	39億 855万2千円	2.7
	火災共済事業	925万6千円	933万6千円	△0.9
	計	559億4574万3千円	555億3265万5千円	0.7
合計		1605億4574万3千円	1565億3265万5千円	2.6

公営企業会計	平成29年度	平成28年度	伸び率(%)
競走事業	567億2135万4千円	572億3942万8千円	△0.9

	平成29年度	平成28年度	伸び率(%)
全会計の合計	2172億6709万7千円	2137億7208万3千円	1.6

平成29年度一般会計予算款（科目）別内訳